

美濃病院経営強化プラン検証表

				(注) 1. 資本的収支以外の各金額は消費税抜き額(単位: 千円)			2. 患者数は健診・予防接種等を除く		
項目				7年度 上期実績値	7年度 目標値	目標値に対する 実績値の割合	6年度 上期実績値	6年度 目標値	備 考
収益的 収支	収 入	医業収益	1. 入院、外来収益	① 1,178,476	2,416,581	48.77%	1,209,021	2,416,662	
			2. 他会計負担金	② 0	16,418	0.00%	0	16,418	
			3. その他	③ 101,826	239,558	42.51%	105,673	233,108	
		医業外収益	1. 他会計負担金	④ 0	15,746	0.00%	0	17,599	
			2. 他会計補助金	⑤ 0	21,891	0.00%	0	21,675	
			3. その他	⑥ 12,535	25,000	50.14%	9,177	25,000	
		収入計 (A)		⑦ 1,292,837	2,735,194	47.27%	1,323,871	2,730,462	
	支 出	医業費用	1. 給与費	⑧ 645,882	1,374,657	46.98%	614,550	1,361,047	
			2. 材料費	⑨ 131,843	320,706	41.11%	138,283	319,942	
			3. 経費	⑩ 303,484	708,227	42.85%	327,606	706,539	
			4. 減価償却費	⑪ 96,426	197,783	48.75%	105,120	218,627	
			5. 資産減耗費	⑫ 0	3,000	0.00%	0	3,000	
			6. その他	⑬ 25,937	64,680	40.10%	27,281	62,939	
		医業外費用	1. 支払利息	⑭ 10,933	20,750	52.69%	12,134	23,568	
			2. 繰延資産償却	⑮ 3,945	7,888	50.01%	3,944	7,888	
			3. その他	⑯ 6	60,000	0.01%	12	60,000	
		支出計 (B)		⑰ 1,218,456	2,757,691	44.18%	1,228,930	2,763,550	
経常利益 (C) =(A)-(B)		⑱ 74,381	△ 22,497		94,941	△ 33,088			
特別損益 (D)		⑲ △ 1,992	△ 2,000		△ 2,909	△ 2,000			
当年度純利益 (E) =(C)+(D)		⑳ 72,389	△ 24,497		92,032	△ 35,088			
前年度未処分利益剰余金 (F)				㉑ 27,962	229,605		242,435	264,693	
前年度分利益剰余金処分額 (G)				㉒					
前年度繰越利益剰余金 (H) =(F)-(G)				㉓ 27,962	229,605		242,435	264,693	
当年度未処分利益剰余金 (I) =(E)+(H)				㉔ 100,351	205,108		334,467	229,605	
資本的 収支	収 入	1. 企業債		㉕ 0	54,000		0		
		2. 出資金(他会計)		㉖ 0	150,801	0.00%	0	164,849	
		3. 国、県負担金、補助金							
		4. 他会計負担金、補助金							
		5. その他							
	収入計 (J)		㉗ 0	204,801	0.00%	0	164,849		
	支 出	1. 建設改良費		㉘ 12,000	68,000	17.65%	21,041	30,000	
		2. 企業債償還金		㉙ 116,646	164,849	70.76%	131,142	262,984	
		3. その他		㉚ 0			0		
		支出計 (K)		㉛ 128,646	232,849	55.25%	152,183	292,984	
差し引き合計 (L) =(J)-(K)		㉜ △ 128,646	△ 28,048		△ 152,183	△ 128,135			
留保資金	前年度末残高		㉝	2,873,108			2,806,116		
	当 年 度 増 減 額	当年度発生額		㉞	184,874			195,127	
			減価償却費	㉟	197,783			218,627	
			資産減耗費	㊱	3,000			3,000	
			繰延勘定償却	㊲	7,888			7,888	
			収益的収支	㊳	△ 24,497			△ 35,088	
			その他(調整を含む)	㊴	700			700	
		当年度充当額		㊵	28,048			128,135	
		資本的収支	㊶	28,048			128,135		
		その他							
		当年度末残高		㊷	3,029,934			2,873,108	
		一般会計繰出金の合計額		㊸ 0	204,856		0	220,541	
年度末企業債残高		㊹	1,844,700			1,955,549			

美濃病院経営強化プランにかかる目標値と実績値

項目	7年度 上期実績値	7年度 目標値	目標値に対する 実績値の割合	6年度 上期実績値	6年度 目標値
救急受入件数(件)	㊱ 416	901	46.17%	432	902
手術件数(件)	㊲ 397	630	63.02%	402	630
在宅復帰率(%)	㊳ 89.9	88.0	102.16%	95.3	87.0
紹介率(%)	㊴ 39.0	35.0	111.43%	40.9	35.0
地域医療研修の受入人数(人)	㊵ 8	9	88.89%	7	9
経常収支比率(%)	㊶ 106.1	99.4	106.74%	107.7	98.9
修正医療収支比率(%)	㊷ 106.4	98.8	107.67%	108.4	97.9
1日あたり入院患者数(人)	㊸ 102.3	107.7	94.99%	108.5	107.5
1日あたり外来患者数(人)	㊹ 256.3	270.0	94.93%	272.4	265.0
入院単価(円)	㊺ 42,119	41,000	102.73%	41,305	40,850
外来単価(円)	㊻ 12,273	12,250	100.19%	11,512	12,125
病床利用率(%)	㊼ 83.9	88.3	95.02%	88.9	88.1
DPC病棟平均在院日数(日)	㊽ 15.5	12.8	120.78%	14.7	12.7
材料費 対医業収益比率(%)	㊾ 10.3	12.2	84.43%	10.5	12.2
経費 対医業収益比率(%)	㊿ 23.7	26.8	88.43%	24.9	27.1
職員給与費 対医業収益比率(%)	㊽ 52.3	51.4	101.75%	52.7	51.7
減価償却費 対医業収益比率(%)	㊿ 7.5	7.8	96.15%	8.0	7.9
後発医薬品の使用割合(%)	㊽ 51.6	43.0	120.00%	57.3	43.0
常勤医師数(人)	㊾ 10	10	100.00%	10	9
看護師数(人)	㊿ 97	100	97.00%	102	101
企業債残高(千円)	㊽ 1,885,304	1,832,192	102.90%	2,087,392	2,025,362

令和7年度上期 美濃市立美濃病院経営強化プラン検証委員会議事録

開催日時：令和7年12月3日（水） 午前9時45分～10時30分

開催場所：防災中央コミュニティーセンター 2階中会議室

出席委員：長尾副市長 西部総務部長 辻民生部長 後藤秘書課長 中島会計管理者

曾貝保健センター所長 島田福祉子ども課長 藤井高齢福祉保険課長

井川病院事務局長 春田病院事務局管理課長

書記・事務局：鵜飼病院事務局管理課長補佐

1. 開会 （事務局長）

2. あいさつ （副市長）

美濃病院経営強化プラン検証表をもとに安定経営を堅持するため、皆さんの検証・評価をお願いしたい。

3. 議題 （進行 事務局長）

（1）令和7年度上半期美濃病院経営強化プランの検証・評価

春田管理課長：美濃病院経営強化プラン検証表の上半期状況を説明。

堀（松波総合病院）

全国的に病院経営は悪化が進行し危機的状況である。7年度の実濃病院の経営状況も引き続き非常に厳しいと思われます。多くの公立病院で一般会計より繰入金の増額が行われており、実濃病院でも、一般会計繰入金の増額を要望し、経営の健全化に努める必要がある。

<質疑>

西部総務部長：医業収益が昨年に比べて3千万ほど減収になっているのは？

・・・特に入院収益が減収となりました、5月より現在のDPC病棟を地域包括医療病棟へ機能変更するための準備期間であり、機能変更するための条件である厳しい施設基準を満たす病棟運営を調整したために、病棟稼働率が低下して入院収益が減少しました。現在は回復基調になっております。12月より機能変更して運用しています。

西部総務部長：在宅復帰率が昨年に続き高いが、在宅に戻りたい人が多い？

・・・在宅復帰率に含まれる介護施設等は患者の受入れや退院先であり、連携は大切です。院長自ら営業訪問しており、良好な紹介や逆紹介を維持出来ています。

後藤秘書課長：DPC平均在院日数は昨年に比べ長くなっていますが、長い方が良いのですか？
経営指標的にはどうですか？

・・・DPC平均在院日数は病棟運用状況によって違いますが、短い方が良いです。ただし、平均在院日数を短くして病棟を空けておくより、医療の必要な患者に長く入院していただく事も大事だと考えます。

また、病棟機能変更に伴い、指標の見直しが必要であると考えています。

後藤秘書課長：医師が減っている状況について、今後の見通しは？

・・・来年４月より、内科１名、整形外科１名、専攻医師１名が増員予定です。

ただ看護師確保が難しく、産休や育児休暇、短時間勤務の看護師が多くなり、特に夜勤が出来る看護師確保が今後の課題となっています。

井川事務局長：国保ドック補助額の来年度予算状況について教えてください。

藤井課長・・・増額を要求しています。

井川事務局長：補助により国保ドック受診者が増加すると病気予防にもなり、病院も健診収益の増加が見込まれます。

藤井課長・・・今年度実績は昨年度よりも若干ですが増加していますので、来年度、補助額を増額することで、受診率向上につなげたいと考えております。

後藤秘書課長：上期の建設改良費が少ないですが、下期に増える見込みですか？

・・・今後支払いが増えていく見込みです、まだ未払いの工事等があります。

収支は上期黒字になっていますが、下期は人件費増加などがあり昨年度と同様に厳しい見込みです。ただ、厚労省の補助支援が検討されており、一般会計繰入金が増額もあり、昨年度の赤字よりも軽減できないかと考えています。

長尾副市長：材料費等の実績値が昨年度より少ないようですが？

・・・リンケージの取り組みである医療材料や薬品の共同交渉によるコストカットにより、経費が削減できています。

長尾副市長：病院経営について、収益は入院・外来単価も増加しており、医業費用の削減、経費削減も行っており、やれる事は行っているのですが、これ以上の取り組みとしては人件費見直し（削減）になってしまうが、難しいため、現状の経営努力を維持してください。

・・・人件費削減（給料カット）は職員の離職や人員確保が難しくなります。経営努力は限界に近づいていますが維持していきます。

長尾副市長：収益は診療報酬改定で報酬を増加してもらえないと考えますし、経費削減も限界だと思いますので、このまま継続出来るように経営努力を維持してほしいと考えます。

4. 検証及び評価のまとめ

(ア)令和７年度上期経営実績に関しては、おおむね目標を達成できており、評価できるが、非常に厳しい経営状況にある。

(イ)医療収益の確保は、診療報酬改定による増額要望に努めること。

(ウ)リンケージの活用を図るなど経費削減に努めること。

(エ)民生部との連携、健診体制の充実等により健診受診者の更なる拡大に努めること。

(オ)医療従事者の確保に、引き続き努めること